



## 資料-2

茅ヶ崎市記者発表資料  
平成29年6月27日  
教育推進部図書館 館長 湯澤さいみ  
電話 0467(87)1001  
教育推進部社会教育課 課長 飯田直士  
電話 0467(82)1111 (内線3349)

## 茅ヶ崎市制施行70周年記念事業

### 「ふるさと発掘一ちがさきの魅力を見つけよう」を開催します

茅ヶ崎市立図書館では、茅ヶ崎市制施行70周年を記念して、県立茅ヶ崎北陵高校出身で、本市ともゆかりのある三澤拓哉映画監督による『3泊4日、5時の鐘』の上映会&トークイベントを開催します。また、本映画がオール茅ヶ崎で撮影され、文化財とも馴染みが深いことから、ロケ地を題材にした、市民の手による写真展示および遺跡調査に関する展示も行います。



© 和エンタテインメント

#### 1 『3泊4日、5時の鐘』上映会&トークイベント

- (1) 日時 8月5日(土)  
14時開場、14時30分開演、17時終了予定
- (2) 場所 茅ヶ崎市立図書館 第1会議室(東海岸北1-4-55)
- (3) 内容 『3泊4日、5時の鐘』上映後、三澤拓哉映画監督によるトークイベントを開催します。
- (4) 申込 7月20日(木)9時~ 電話または来館で。先着60人

#### 2 写真展「ロケ地から見る茅ヶ崎の四季」

- (1) 日時 7月19日(水)~8月5日(土)9時~19時  
(土・日曜日は17時まで、月曜日は休館)
- (2) 場所 茅ヶ崎市立図書館 2階展示ホール  
(東海岸北1-4-55)
- (3) 内容 市内の公民館で活動する写真クラブが、映画のロケ地となった茅ヶ崎の四季の風景を紹介します。



映画のロケ地となった茅ヶ崎館

#### 3 文化財展示「遺跡の調査と市内の遺跡」

- (1) 日時 7月19日(水)~8月5日(土)9時~19時  
(土・日曜日は17時まで、月曜日は休館)
- (2) 場所 茅ヶ崎市立図書館 2階展示ホール  
(東海岸北1-4-55)
- (3) 内容 本映画では、実際に市内で出土した土器などの遺物を扱うシーンや、発掘調査現場のシーンがあります。それらのシーンを楽しむことができ、実際の遺跡調査についても理解を深めることができるよう、映画にも登場する調査のさまざまな道具や、市内で実際に出土した遺物を展示します。



発掘現場シーン近くの宝生寺

#### 4 三澤拓哉さんプロフィールについて

三澤拓哉 (Takuya MISAWA)

1987年、神奈川県寒川町出身。2006年、茅ヶ崎北陵高校卒業。2011年明治大学を卒業後、日本映画大学に進学。2016年、卒業。

日本映画大学在学中より商業映画の制作にスタッフとして関わり、2014年にオール茅ヶ崎ロケ作品『3泊4日、5時の鐘』（製作:和エンタテインメント）を監督する。同作は初監督・初脚本作ながら第44回ロッテルダム国際映画祭ほか国内外12の映画祭に正式招待され、第5回北京国際映画祭注目未来部門最優秀脚本賞、第2回シロス国際映画祭最優秀作品賞、おおさかシネマフェスティバル2016新人監督賞を受賞。

2016年には韓国DMZ国際ドキュメンタリー映画祭が企画する日韓中台の若手映画制作者による共同制作プロジェクト「Asia Co-production」に参加し、短編ドキュメンタリー映画『Return』を監督。同作はモロッコで行われた国際学生映画祭のドキュメンタリー部門でグランプリを受賞する。

また同年、神奈川県の藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町からなる湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会が企画する「湘南の魅力発見プロジェクト」に参加し短編映画『C-side town』を監督。現在、今秋、大磯町で撮影予定の長編映画『落葉のころ（仮題）』の制作準備中。



© Mountain Lin

##### 主な参加作品

2012年 アシスタント・プロデューサー 『おだやかな日常』（監督:内田伸輝）

2013年 アシスタント・プロデューサー 『ほとりの朔子』（監督:深田晃司）

2013年 制作 『マンガ肉と僕』（監督:杉野希妃）

2014年 プロデューサー 『少年の夢』（監督:杉野希妃）

2014年 演出助手 『欲動』（監督:杉野希妃）

2014年 脚本・監督 『3泊4日、5時の鐘』

2016年 監督 『Return』

2017年 脚本・監督 『C-side town』

※すべて公開年



© 和エンタテインメント

#### 5 映画『3泊4日、5時の鐘』

湘南・茅ヶ崎にひっそりと佇む老舗旅館・茅ヶ崎館。ここは日本を代表する映画監督、小津安二郎が脚本執筆のため定宿とした創業115年(注1)の歴史をもつ実在する旅館である。『3泊4日、5時の鐘』は当館において全面的な撮影が許可された初めての映画となった。

物語は、ある夏の一日からはじまる。花梨と真紀は会社の元同僚で茅ヶ崎館の長女でもある理沙の結婚パーティーに出席するために、茅ヶ崎館を訪れる。そこで花梨は茅ヶ崎館でアルバイトをしている知春を弄び、一方、真紀は学生時代に恋心を抱いていた大学教授の近藤に再会する。そこで知春を密かに想う同級生の彩子や理沙の弟の宏太も加わり、登場人物たちの感情が複雑に絡まりはじめていく…。



【上映チラシより抜粋】

(注1)は撮影時。現在は創業118年の歴史をもつ。

© 和エンタテインメント

**★当日の取材もお待ちしています。お車でお越しの際は、事前にご連絡いただければ、駐車スペースをご用意させていただきます。**